

保護者の皆様

認定こども園総合施設
函館若葉幼稚園

令和7年度学校評価報告について

日頃より、本園の教育・保育に対しましてご理解とご協力下さり、誠にありがとうございます。
ございます。

保護者の皆様からご協力頂きましたアンケート回答により、評価結果を
ご報告させていただきます。

また、担任による自己評価、関係者評価の実施、結果の公表（学校評価報告）に
より、保護者の皆様からご理解と参画を得て信頼され開かれた幼稚園づくりを
進めていこうと存じます。

当園がこれまで取り組んできました遊び中心の教育・保育への評価として
真摯に受け止め、多様な視点を持って改善へとつなげていけるよう努めて参ります。

今後共、ご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

自己評価結果と保護者によるアンケート結果

1、本園の教育目標

宗教的な雰囲気の中で「明るく元気な子」「心ゆたかな子」「自分からすすんで
行う子」の育成

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・子ども達の声に耳を傾け、思考に寄り添い、遊びの質を高めることができるよう
日々の振り返りをしっかり行い、試行錯誤していく。
- ・保育者や補助教諭との連携をはかる。
- ・配信や連絡を通して家庭との連携をはかり、個々の理解に努める。
- ・研修を通して新しい教育・保育をアップデートし、理解を深め実践していく。

令和7年度 自己評価項目一覧

評価分類			内 容	A	B	C	D
Ⅰ保育の計画性	1	園の教育理念・教育目標の理解	○園の教育理念や教育目標を理解する	57%	36%	7%	
			○園の教育理念に基づいて教育目標について園長や保育者と話し合う	50%		21%	8%
			○園の目指す幼児の姿を具体的にイメージする	50%	29%	21%	
			○園の教育方針を理解しつつも、自分も明確な教育観をもつ	50%	43%	7%	
	2	教育課程の編成	○園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成する	57%	36%	7%	
			○園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画を立てる	50%	43%	7%	
	3	指導計画の作成	○指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成する	64%	29%	7%	
			○指導計画は幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性の あるものにする	64%	29%	7%	
	4	環境の構成	○安全で清潔感のある環境構成する	50%	43%	7%	
			○幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具を考えて環境を構成する	43%	50%	7%	
			○幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をする	21%	57%	14%	
			○遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意する	50%	36%	14%	
			○楽しい雰囲気の中かで安心して遊びこめる環境を構成する	72%	21%	7%	
			○幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成する	22%	57%	21%	
			○幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示をする	50%	36%	14%	
			○園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、環境構成に いかす	50%	21%	29%	
			○幼児の発達や生活を見通した環境の構成をする	50%	43%	7%	
			○季節の変化に応じた環境の構成をする	50%	43%	7%	

Ⅱ 保育の在り方、 幼児への対応	5	評価・ 反省	○異年齢の幼児が自然に交流できるような環境の構成をする	43%	36%	21%	
			○自分の保育についての評価・反省をいくつかの観点から行う	43%	36%	21%	
			○自分の保育を評価・反省することで、次の保育にいかす	50%	29%	21%	
	1	健康と 安全へ の配慮	○朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないかを確かめる	70%	30%		
			○けがや事故に気をつけ、万一、事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡を取り、医師に見てもらうなど適切な処置を行う	70%	30%		
			○園内に危険な個所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考える	70%	15%	15%	
			○園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温などに気を配る	71%	15%	15%	
	2	幼児理 解	○一人ひとりの幼児をよく観察すると同時に周囲にも目を配る	58%	21%	21%	
			○幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめる	70%	30%		
			○個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しをもって理解する	43%	36%	21%	
			○幼児同士のかかわりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する	64%	22%	14%	
			○幼児たちが今、興味や関心をもっていることを知る	70%	30%		
			○幼児の理解のために家庭との連携をとる	57%	43%		
			○幼児の姿を多面的に捉えるように心がける	50%	43%	7%	
	3	指導と かかわ り	○幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動する	71%	29%		
			○幼児が理解しやすいような、正しい言葉を使う	64%	36%		
			○幼児が自ら考え行動する力を育むことができるよう、肯定的な言葉をかける	43%	36%	14%	
			○幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしない	93%	7%		
			○善悪の判断、思いやりなどの道徳性を培ううえでのモデルとなるように心がける	50%	36%	14%	
			○幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける	70%	15%	15%	
			○幼児の話をよく聞き、スキンシップをとるようにする	78%	22%		
			○幼児が遊びを深めていくための、適切な援助をするように心がける	57%	29%	14%	
			○幼児の年齢に応じた援助の仕方を工夫する	50%	36%	14%	

Ⅲ 保育者としての資質と能力			○幼児が自ら考えたり工夫したりできるように見守り、行き詰まっているときには適切な援助をする	50%	50%		
			○幼児同士のトラブルに対し、双方の言い分を聞き、お互いが納得する解決へと導くようにする	64%	22%	14%	
			○幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしない	93%	7%		
	4	保育者 同士の 協力・ 連携	○クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をするように心がける	70%	30%		
			○クラスの環境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換し合う	50%	29%	21%	
			○幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	86%	7%	7%	
			○他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うような、さまざまな工夫をする	43%	36%	14%	7%
	1	専 門 家 と し て の 能 力 ・ 姿 勢 ・ 義 務	○幼児の性格や個性を把握し、幼児の考えや感じていることを理解する	71%	29%		
			○保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	43%	43%	14%	
			○保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がける	43%	43%	14%	
			○幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする	71%	29%		
			○服装、髪形、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がける	93%	7%		
			○職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	93%	7%		
			○園の重要書類は持ち出さない	100%			
			○締切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守る	71%	29%		
	2	組 織 の 一 員 と し て の 在 り 方	○教職員全員で一つのチームであることを自覚する	71%	21%	7%	
			○他の意見を素直な気持ちで聞き、自分の意見を述べるよう努める	50%	43%	7%	
			○子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をする	71%	29%		
			○当番や役割による仕事は確実に行う	71%	29%		
			○園や保育者に関することについては、軽はずみに他に話さない	71%	29%		
	3	保 育 の 楽 し み ・ 喜 び	○幼児の成長を自分の喜びと感じる	71%	29%		
			○幼児と一緒に生活を創りだすことを楽しいと感じる	71%	22%	7%	

IV 保護者への対応	1	情報の 発信と 受信	○保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	57%	43%		
			○保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がける	64%	36%		
			○ひとり一人の保護者の状況をふまえ、保護者の養育力の向上につながる かかわりを心がける	43%	50%	7%	
	2	守秘義務 の遵守	○保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従う	93%	7%		
			○個々の幼児や保護者、家族の情報は口外しない	85%	15%		
	3	対応上 のマナ ー・心 がまえ	○日常生活において、その場にあった正しい言葉を使うようにする	50%	43%	7%	
			○電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、 簡潔に わかりやすく話すことを心がける	64%	22%	14%	
			○保護者からの依頼や伝言などについては、メモをするなどきちんと 対応する	64%	29%	7%	
	4	クレ ームへの 対処の 仕方	○保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に 報告、連絡、相談をする	64%	29%	7%	
			○クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで 対処する	71%	29%		
V 地域の自然や社会とのかかわり	1	地域の 自然・ 人々と のかか わり	○地域の人々と親しくあいさつや会話を交わすように心がける	100%			
			○地域の自然や主な施設の場所、交通機関、行事などについて理解するよ う努める	64%	36%		
			○地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫を する		21%	36%	43%
	2	小学校と の連携	○小学校の教育内容について理解するよう努める	7%	36%	29%	29%
			○地域の小学校の行事や公開授業に関心をもつ	29%	21%	14%	36%
	3	子育ての支援と 地域への開放	○子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解する	7%	36%	36%	21%
			○子育ての支援や地域開放について、教職員全体で話し合う	21%	21%	29%	29%
VI 研修と研究	1	研修・ 研究へ の意 欲・態 度	○研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する	43%	36%	21%	
			○自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行う	43%	43%	14%	
			○自分の保育の在り方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に 相談する	29%	50%	21%	
	2	保育者 として	○幼児の発達理論を学び、保育にいかすための研修・研究を行う	43%	36%	21%	
			○記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	29%	36%	36%	

		の専門 性に関 する研 修・研 究	○教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	29%	29%	21%	21%
			○保育記録に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行う	36%	43%	14%	7%
			○幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行う	36%	43%	14%	7%
			○保護者への対応に関する研修・研究を行う	15%	43%	21%	21%
			○地域社会との交流に関する研修・研究を行う	7%	29%	29%	35%
			○保育者同士の協力・連携に関する研修・研究を行う	28%	36%	36%	
	3	今日の 課題に 関する 研修・ 研究	○アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解する	42%	29%	29%	
			○障がいのある幼児の理解と対応について研修する	50%	21%	29%	
			○子ども主体の保育・教育について研修・研究する	43%	21%	36%	
			○幼小連携の必要性や具体的方策について研修する	21%	21%	21%	37%
			○危機管理の必要性と対応について研修する	29%	36%	14%	21%

- ・ A～十分達成されている
- ・ B～達成されている
- ・ C～取り組んだが、成果が十分でない
- ・ D～取り組みが不十分である

自己評価結果

I 保育の計画性について

- ・教育理念を理解し行事及び活動の中で子どもたちと共に触れながら学ぶことができたと思うが、発達段階が色々な子どもが多くいる中で、保育を進めていくにあたり子どもの実態や、成長する姿を捉えながら計画性のある保育が難しく感じた。
- ・月齢に応じた保育内容を考えたり、また個々の目標を明確にして定期的に見直ししながら保育を進めて行く事ができた。
- ・主体的に遊ぶために必要な事や物は何かもっと考えて計画をたてるべきだった。
- ・自然への興味が高まった時期にも関わらず、遊びを広げるための素材準備が追いつかず、発達を促す十分な環境構成ができなかった。
- ・気持ちの切り替えや集中力の持続性が難しい時期であることを十分に理解できておらず、活動時間や導入時間が長くなってしまった。
- ・年齢や興味・関心に合わせた遊び(製作)の際、見通しが甘く、「やりたい」がすぐにできない
- ・事前に見通しを持って計画を立てたが予想が甘かった。

来年度への課題

- ・保育者間での共通理解をもっと深め連携をとり計画を立てていく。
- ・季節の変化を先取りして準備を整え、子ども達の「やってみたい」というような気持ちにすぐ応え、五感をつかったより子ども達が夢中で遊べるような環境構成を作っていく。
- ・日々の保育の中でより具体的な目的を持って計画を立て、保育、教育に反映させていく。
- ・一人一人の趣味や発達に応じたねらいを明確にし、子ども主体の活動を計画に反映させていく。
- ・興味を持って製作に取り組めるような環境づくりや言葉かけをしていく。
- ・計画に柔軟性を持ち、短い期間と長い期間と双方の目標計画を立てて保育に取り組む。
- ・様々な活動を計画し実践していく中で興味や関心の先を知る

II 保育の在り方、幼児への対応

- ・指導の中で配慮が必要な子どもに対し、1つでも多くできることを増やし、困り感を少なくできるようにしたいという思いが強くなってしまい、適切な援助や関わりができていなかった。
- ・発語が少ないこの時期に子どもたちの思いをどのように感じ取り接していくことが良いのか、保育者の一方的ではなかったか反省する
- ・興味や関心がどこにあるのか個々の様子を探ることが欠けていた
- ・自分でやろうとする姿を見守る余裕がなく、援助が先行してしまうことが多々あった。
- ・子どもの成長、興味関心を最大限にいかした保育ができていなかった
- ・日々丁寧な関わりを意識しながら関わることができたが、嘔みつきや転落防止など怪我防止を心掛けるあまり先回りしてしまうことがあった
- ・子ども達が自分の思いをもっと表現したり、自分で選択できる機会を作るとよかった。

来年度への課題

- ・状況をしっかりと把握しその場その時の子どもたちの気持ちを探りながら関わる
- ・園児一人ひとりとさらに深く向き合い、どのような言葉や対応が効果的なのか探り、それぞれに合った言葉かけや、援助と見守りのバランスに気を付けていく
- ・幼児理解や指導の仕方の専門的知識を深め、いろんな角度からアプローチができるようにしていく。

Ⅲ保育者としての資質と能力

- ・自分を客観的に捉え日々の反省を行うことが不十分であった。
- ・他の保育者が行う子どもへの声かけや肯定的な関わりなどの様子から、自分の課題に気づくことができたが、自分に余裕がないときは多面的に捉えることができないと感じることもあった
- ・その時々状況に応じた柔軟な対応ができない場面があった。

来年度への課題

- ・個々の性格や個性の把握につとめ、他の職員とクラスの様子や子どもたちのことを共有、相談しながら教育、保育に努める。
- ・忙しい中でも気持ちに余裕を持ち、落ち着いた関わりができるよう自己管理を意識する
- ・クラス運営だけでなく、園全体の仕事にも責任を持ち取り組む

Ⅳ保護者への対応

- ・個人面談の時に、配慮が必要な子どもの保護者の気持ちに寄り添った対応や伝え方ができていなかったために、不信感を与えてしまったことを反省している。
- ・怪我をした時の状況説明と謝罪、着替えや水遊び準備など持ち物のお願い、連絡事項は伝えていたが、日々の小さな成長をこまめに伝えたり家での様子を積極的に聞いたりできなかった。
- ・ドキュメンテーションの発信が少なかった
- ・伝える内容や言葉選びに配慮が足りず、誤解を招く伝え方になってしまった。
- ・保護者が子どもの様子を具体的に想像できるような伝え方を工夫するべきだった。

来年度への課題

- ・課題がある子は再度、面談の機会を持ち経過や様子など話す機会を設けていきたい。
- ・園での出来事だけでなく、子どもの細かな様子や思いの変化、成長など積極的に保護者に伝え、子どもの成長と一緒に喜ぶとともに、より良い信頼関係を築いていく。
- ・保育者間で子どもの様子や成長を話し合い、保護者に伝える内容を担任が共通認識をもち、どの保育者でも対応できる状況にする
- ・連絡帳や動画も変化や状況が分かるよう工夫していく
- ・保護者の話に丁寧に耳を傾け、不安や思いを受け止めたうえで信頼関係を築いていく。
- ・伝える内容や言葉選びに配慮し、誤解のない分かりやすい説明や関わりを心掛ける。

Ⅴ地域の自然や社会とのかかわり

- ・夏は図鑑を持って虫を探したり、秋は公園に行ってどんぐりや落ち葉を拾ったり、幼稚園の周りの植物を日々観察して変化を感じたりすることができ、拾ったものを製作に取り入れるなどしたが、そこから大きく発展させることができなかった。
- ・地域の人との関わりは、戸外活動での挨拶程度しかなかった。毎年、地域の人や社会とのかかわりを作っていきたいと反省するが、また同じ反省になってしまった。
- ・今まで行ったことがある公園に出かけることが多く、新たに調べ開拓しなかった

来年度への課題

- ・積極的に地域との交流を深め経験を積んでいけるようにする。
- ・今後もさまざまな自然に触れていくとともに、それを遊びにも活かし、広げていけるようにしたい。
- ・安全に配慮して見守りながらも、大切なことを伝えていき、自然への興味が持てるような雰囲気作りや、地域の人とコミュニケーションが取れるような環境作りをしていく。
- ・地域資源に目を向け調べ、情報収集をする

VI研修と研究

- ・受ける研修のテーマが偏ってしまっていた。
- ・障害児教育関連を中心に、様々な課題意識を持ち意欲的に研修に参加し 知識として理解することはできたが、保育の実践の中ではまだ活かすことができていない
- ・自主的に専門知識を高める努力が足りなかった

来年度への課題

- ・こどもたちの姿や保育の在り方も年々変わっていくため、様々な知識を得ることが出来るよう、積極的に研修を受けていく。
- ・偏りなく、研修を通して幅広く興味を持ち、色々な角度から理解を深めていき、保育の実践に繋がられるようにしていきたい。
- ・研修に参加した内容を保育者間で情報共有する
- ・保育者同士で子どもたちの様子を共有し、適切な判断を一緒に考えながら保育を進める。
- ・自分の保育と向き合い努力を惜しまず学び続け保育者としての意識を高めていく。

令和8年度への課題

- ・個々の思いに寄り添いながらも、集団生活を経験する場として、園全体のぶれないルール（子どもが納得できる）の中で園生活を送れるようにする。
- ・育てたい姿「聞く力」「伝える力」「考える力」を職員の共通理解とし、沢山の遊びから豊かな経験を重ねていく。

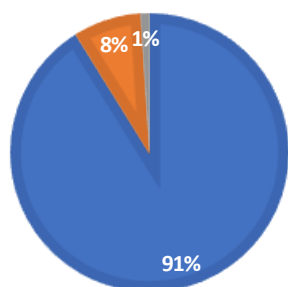
令和7年度 保護者アンケート結果

■ そう思う

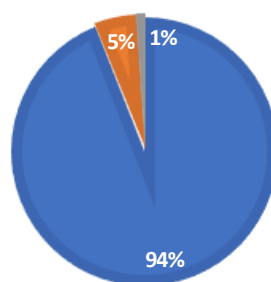
■ あまり思わない

■ 思わない

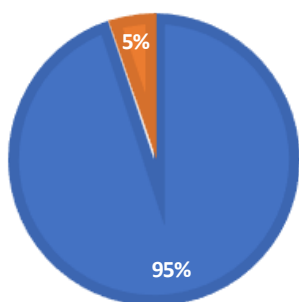
1,園は、教育・保育方針や教育目標を分かりやすく伝えていますか



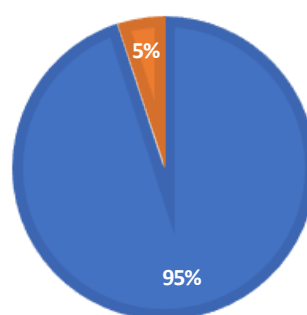
2,園は、教育・保育方針や目標を、こども達の育ちに生かしていますか



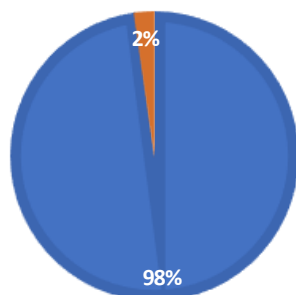
3,お子さんは、喜んで登園し、親しみやすいと感じていますか



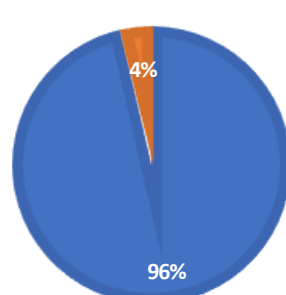
4,園は、一人ひとりの個性を大切にしながら発達段階や興味、関心に応じた保育が行われていますか



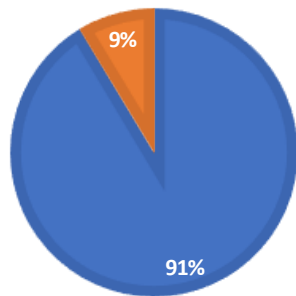
5,園は、異年齢が触れ合える環境構成をしていますか



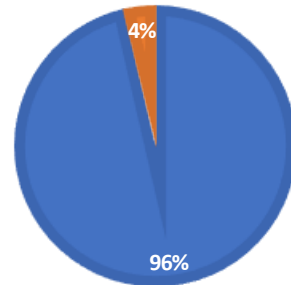
6,保育者は、一人ひとりの子どもをよく理解していますか



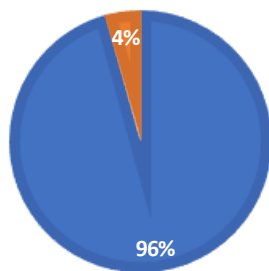
7,保育者は、子どもの保護者の悩みや問題に対して、適切に対応していますか



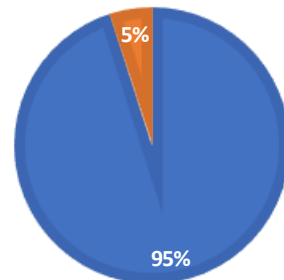
8,園は、園の活動をHPやドキュメンテーション、動画配信等で伝えることができますか



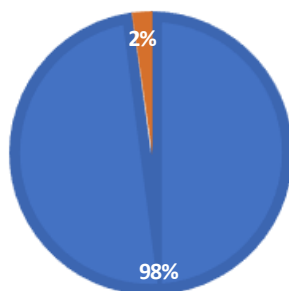
9,園は、子どもの様子や連絡事項、怪我や病気等への対応は適切に行われていますか



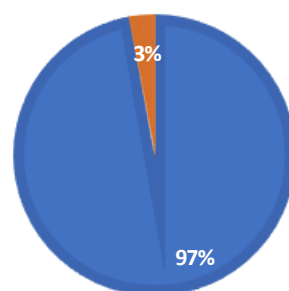
10,園は、子どもが安全で心地よく過ごすための配慮（安全点検・事故防止・避難訓練）をし危機管理や安全対策に努めていますか



11,園は、施設設備（保育室・園庭・ひろば）教育環境の充実に努めていますか



12,園は、個人情報の取り扱いに十分注意していますか



保護者からのご意見感想

- ・様々な行事を通して子どもの成長を改めて感じる事ができた。
- ・安心して預けることができる。
- ・子どもの個性を大切に保育してくれていると感じる。
- ・親子共々、園に支えられ成長できた。
- ・楽しく登園させて頂き、沢山の経験をさせてもらえた。
- ・連絡帳やてのりの(動画配信)を丁寧に更新されていて、毎日の動画を家族楽しみにしている。
- ・大切に見守り、丁寧にフォローしてくれたおかげで、のびのび過ごすことができた。
- ・日々の様子や成長を思ってた以上に知ることができた。
- ・明るい雰囲気と元気なエネルギーに溢れ、多才な仕事ぶりと恐縮する程のお気遣い、若葉幼稚園最高でした。

- ・各クラスにも監視カメラを付けることを考えて欲しい。怪我をした時や個人面談などでクラスの様子を見られたら嬉しく思う。
- ・マーヤ時間でのケガなどの出来事が、あまり伝わってない印象だったので、何かあれば教えて欲しい。
- ・風邪が流行る時期や、お休みが多い時期は他のクラスと遊ばせないでほしい。
- ・健康な子が風邪を引いてしまうので、保護者に風邪を引いている時は幼稚園を休むように強く言ってほしい。せめてマスクをするなど何が決まりを作ってほしい。
- ・雑費等が口座引き落としや、現金集金になったりと分かりにくい。
- ・マーヤ(お預かり保育)や給食注文の申し込みがコドモンでできると助かる。
- ・お休みに預けたり、仕事帰りに買い物して迎えにいく保護者がいるのは、おかしい。
- ・敬老の会後も、てのりの動画配信が両親の許可なく祖父母に配信されることに驚いた。注意が必要ではないのか。
- ・お誕生会にて誕生児の保護者が参加できることを、アナウンスしてほしい。

上記からのまとめとして

お忙しい中アンケートにご協力いただき深く感謝申し上げます。

園の教育・保育方針や目標につきましては、更にしっかりと伝わる教育・保育を目指す必要性と、より一層子ども達の育ちに活かせる環境づくりが重要であると改めて感じました。

来年度からも、個々の思いや考えを受け止めながらも、集団生活を経験する大切な場としての役割を担い、育てたい姿を常に念頭において教育・保育を行ってまいります。

今回のアンケート結果を受け、皆様から頂いた貴重な御意見や温かい御言葉は、職員全員で共有し、日々の園運営の改善や教育、保育向上に活用させていただきます。

子ども達が沢山の経験の中で、個々を発揮しながら集団生活を楽しみ、心も身体も豊かに育っていくことを願い、そのためにも一方通行ではなく園と保護者が協力しより良い環境づくりができれば幸いと考えます。